

プログラム名 『葉っぱのポストカード』

季節	春	夏	秋	冬	イベント
----	---	---	---	---	------

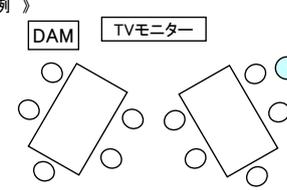
対象	一時予防対象者	二次予防対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3
----	---------	---------	------	------	------	------	------

人数 10人程度

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・葉っぱという自然にあるものの形を使いながら、コラージュ(貼り絵)による色彩の組み合わせを楽しむ。 ・参加者が自ら選択、決定しながら制作をすることで、脳を刺激する。 ・制作後も生活の中で使用したり、プレゼントしたりすることで周囲とのコミュニケーションを楽しむ。
----	--

使用材料		名称	必要数	備考
		はがきサイズ光沢紙 郵便番号枠	1人1枚	ココロ
タント紙折り紙	1人1枚	KOMA		
超うす折り紙	1人1枚	株式会社クラサフ		
マイタックラベル5色 8mm	1人1/4枚	ニチバン		
ユニボールシグノ(金・太字)	1人1本	三菱鉛筆		
スティックのり	1人1本	株式会社トンボ鉛筆		
はさみ	1人1本	工作用はさみで可		

事前準備	 <ul style="list-style-type: none"> * タント紙折り紙と超うす折り紙は、それぞれ半分の大きさに切っておきます。 * マイタックラベルは、シールが2〜3個ずつになるようにシートを切り分けておきます。 * 各材料は、指定のものを事前に用意してください。 * 様々な形の葉っぱ(5cm程度の大きさで、あまり複雑な形でないもの)を人数より少し多めに準備しておきます。
------	--

会場レイアウト	<p>《 配置例 》</p>  <ul style="list-style-type: none"> * モニターが無理なく見られるようにテーブル、イスを配置。 * モニターが遠すぎると画面が見つらなくなるため注意。 * 椅子は、参加者の間に入って声掛けができるよう、適度なゆとりをとって配置する。
---------	--

画面表示の見た		このコンテンツには、オートリピート機能が採用されています。このマークがついているチャプターは、最大120回リピートされますので、参加者の状況に合わせて[DAM]ボタンを押し、次の手順へ進みます。
		画面で制作手順のポイント解説を行います。できるだけ画面を見てもらえるように声掛けしましょう。

進め方のポイント	何色の紙を使いたいかなど、どこに貼りたいかなど、参加者ご本人に選んでいただく、決めていただけるよう心がけましょう。葉っぱの形がベースになっていますが、選んだ葉っぱと同じ形に切れていなくても大丈夫です。急がせることなく、参加者のペースに合わせて、できる範囲から行いましょう。
----------	--

内容	使用材料	画面表示	実施のポイント	声掛け
導入				
 <p>5分</p> <p>完成作品(例)の紹介 完成作品の使用例紹介</p>		 <p>タイトル 「葉っぱの ポストカード」</p>	<p>作品について話しをしながら参加者を席まで誘導しましょう。</p> <p>※リピート 全員が揃ったら[DAM]ボタンを押し、次の手順へスキップします。</p> <p>※スキップ [DAM]ボタンを押すと、次の手順へスキップします。</p>	<p>「綺麗ですね」「何でできてるんでしょね?」「〇〇さんはどうやって使いたいですか?」</p>
前編				
①素材を選ぶ				
 <p>5分</p> <p>葉っぱを手にとりて観察します。 気に入った形の葉っぱを選びます</p>	<p>・葉っぱ</p>		<p>直接触ってみることで、これから使う素材に興味を持てるよう声をかけましょう。</p> <p>ここでは1番気に入った葉っぱを「1枚」厳選して選んでいただきます。</p>	<p>「どうぞ触ってみてください」「何の葉っぱかわかりますか?」「さわり心地はどうですか?」「みなさんも一緒にやってみましょう!」</p>
 <p>5分</p> <p>厚手の色紙を選びます 薄手の色紙を選びます</p>	<p>・タト紙折り紙 ・超うす折り紙</p>	<p>気に入った色紙を選んでみましょう 厚手の色紙に合う色を選びましょう</p>	<p>気に入った色を1枚手にとりていただきます。 ※選べたら残りは片付けておきます。 前に選んだ色紙に重ねて見ながら、使いたい色を手にとりていただきます。 ※選べたら残りは片付けておきます。</p>	<p>「まず画面を見てみましょう」「みなさんも選んでみましょう!」「みなさんも選んでみましょう!」</p>
 <p>5分</p> <p>選んだ2種類の紙を重ねて貼り合わせます</p>	<p>・色紙2種 ・スティック糊</p>	<p>こちらをご確認ください みなさんも貼り合わせてみましょう</p>	<p>色紙は多少ずれていても大丈夫です。 9割方できていたら、[DAM]ボタンを押し、次の手順へスキップします。</p>	<p>「まず画面を見てみましょう」「では貼ってみましょう」</p>
②かたちを作る				
 <p>15分</p> <p>葉っぱの場所を決めます 葉っぱの周りをなぞります 葉っぱの形をハサミで切り抜いていきます</p>	<p>・葉っぱ ・貼り付けた色紙 ・鉛筆</p>	<p>葉っぱを動かして場所を決めましょう こちらをご確認ください みなさんも葉っぱの形を写し取りましょう こちらをご確認ください みなさんも切り抜いてみましょう</p>	<p>葉っぱは少しはみ出しても大丈夫です。 葉っぱの通りになぞれていなくても大丈夫です。焦らずにゆっくりと書けるように声かけを行います。 9割方できていたら、[DAM]ボタンを押し、次の手順へスキップします。 二枚の色紙は多少ずれても大丈夫です。途中で切れても後で貼り付ける際に繋げることができます。 9割方書けていたら、[DAM]ボタンを押し、次の手順へスキップします。</p>	<p>「葉っぱの場所を決めましょう」「一度画面を見てみましょう」「では皆さんもやってみましょう」「もう一度画面を見てみましょう」「皆さんも切り取ってきましょう」</p>
後編				
③カタチを貼る				
 <p>10分</p> <p>切った色紙を順番にハガキに貼り付けていきます。</p>	<p>・色紙の部品 ・ハガキ ・スティック糊</p>	<p>こちらをご確認ください みなさんも貼ってみましょう こちらをご確認ください みなさんも貼ってみましょう 厚手の葉っぱも貼ってみましょう</p>	<p>なかなか場所が決まらない方がいても、急がせず、じっくり考えて場所を決めていただきます。 9割方貼れていたら、[DAM]ボタンを押し、次の手順へスキップします。 なかなか場所が決まらない方がいても、急がせず、じっくり考えて場所を決めていただきます。 9割方貼れていたら、[DAM]ボタンを押し、次の手順へスキップします。 時間に余裕がある場合にはもう一枚も貼り付けてみるのも良いでしょう。 ※もちろん2枚のままでも構いません。 9割方貼れていたら、[DAM]ボタンを押し、次の手順へスキップします。</p>	<p>「まずはやり方を見てみましょう」「ではみなさんも場所を決めて貼ってみましょう」「もう一度画面を見てみましょう」「ではみなさんも貼ってみましょう」「よければもう一枚も貼ってみましょう」</p>
④アクセントを加える				
 <p>5分</p> <p>アクセントとして丸いシールを貼っていきます。</p>	<p>・ハガキ ・丸シール各色</p>	<p>こちらをご確認ください 丸いシールを貼ってみましょう</p>	<p>作業が進まない方がいても、急がせず、じっくり考えて貼る場所を決めていただきます。 シールは2~3枚がおすすです。 9割方できていたら、[DAM]ボタンを押し、次の手順へスキップします。</p>	<p>「まずはやり方を見てみましょう」「ではみなさんも貼ってみましょう」「シールは多すぎず、2~3枚がいいようです」</p>
 <p>5分</p> <p>金色のボールペンを使って葉っぱの形を強調していきます。</p>	<p>・ハガキ ・金ボールペン</p>	<p>こちらをご確認ください 目立たせたい葉っぱをなぞってみましょう</p>	<p>作業が進まない方がいても、急がせず、じっくり考えて線を入れる場所を決めていただきます。 9割方貼れていたら、[DAM]ボタンを押し、次の手順へスキップします。</p>	<p>「まずはやり方を見てみましょう」「ではみなさんもなぞってみましょう」「点線や波線でもいいようです」</p>
⑤鑑賞				
 <p>5分</p> <p>完成作品を見ながらコミュニケーションを楽しみます。</p>			<p>全員で作品を囲みながら話しを楽しみましょう。 ※可能な場合には席を立てて一箇所に集まるようにすると、会話しやすいでしょう。</p>	<p>使った葉っぱによる雰囲気の違いや、色合いなど、それぞれの作品のよい部分、何に使いたいか等話し合ってみましょう。</p>